

読むこと②

第1学年

場面の様子について、想像を広げながら読むこと

つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

場面の様子や登場人物の言動を表す言葉を見つけ、想像を広げることができない。

どの言葉が登場人物の気持ちを表しているのかを読み取ることが苦手である。

おじいさんが、かぶのたねを まきました。
「あまい あまい かぶになれ。 あまい かぶになれ。」
おおきな おおきな かぶになれ。」

登場人物の気持ちについて、読み取ったことを、音読に表すことができない。

実践の概要

単元名

音読発表会をしよう

『おおきなかぶ』 光村図書

目標 場面の様子や増えていく登場人物について、想像を広げながら読むことができる。

- 内容
- ・ あらすじをつかみ、場面分けをする。
 - ・ 8つの場面の様子や登場人物の気持ちを想像して音読する。
 - ・ 音読発表会をする。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学習内容（単元名）		つまずきの実態
第6学年	宮沢賢治が創り出す世界を味わおう	登場人物の相互関係や場面についての描写をとらえることができず、主題にせまる考えをもつことができない。
第5学年	すぐれた表現に着目して、物語のみりよくを伝え合おう	一方的なものの見方から抜け出せず、主題にせまる感想をもつことができない。
第4学年	読んで考えたことを話し合おう	登場人物の姿・様子について、文中の一部から表面的にしかとらえられない。
第3学年	場所の移り変わりをとらえて感想をまとめよう	中心人物の様子を表す言葉から、中心人物の置かれている状況を想像して、気持ちを書くことができない。
第2学年	音読げきをしよう	叙述に込められている登場人物の気持ちの変化を想像することができない。
第1学年	音読発表会をしよう	場面の様子や登場人物の言動を表す言葉を見つけ、想像を広げることができない。

単元末の目指す姿

- ・ 文章中の言葉から登場人物の気持ちへと自分なりに結び付けることができるようになる。
- ・ 場面ごとの様子や人物の気持ちを想像し、声の大きさ、速さなどに気を付けて、音読にいかすことができる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

場面ごとに動作化をしながら、登場人物の会話をインタビュー形式で聞く活動を行う。

活動のねらい ▶ 登場人物の会話や気持ちを想像する手助けにすることができる。

ここが
ポイント

動作化した直後、インタビュー形式でそれぞれの人物の会話や気持ちを聞いていくようにする。また、それぞれの場面の「けれども」「それでも」「やっぱり」「まだまだ」「なかなか」などの言語表現の違いやおもしろさも、動作と結び付けて味わうようにする。

授業の様子



さあ、ひっぱるよ。
うんとこしょ、
どっこいしょ。

おじいさん、
さっきと何か変わりましたか。

ねこさんが来てくれて、さっきよりは動いているんだけど、なかなかだなあ。もう少しなんだけど。

(期待される児童の姿)

それぞれの登場人物になって、かぶを引っ張った後、インタビュー形式で聞くことにより、自分の言動と登場人物の気持ちを結び付けることができる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

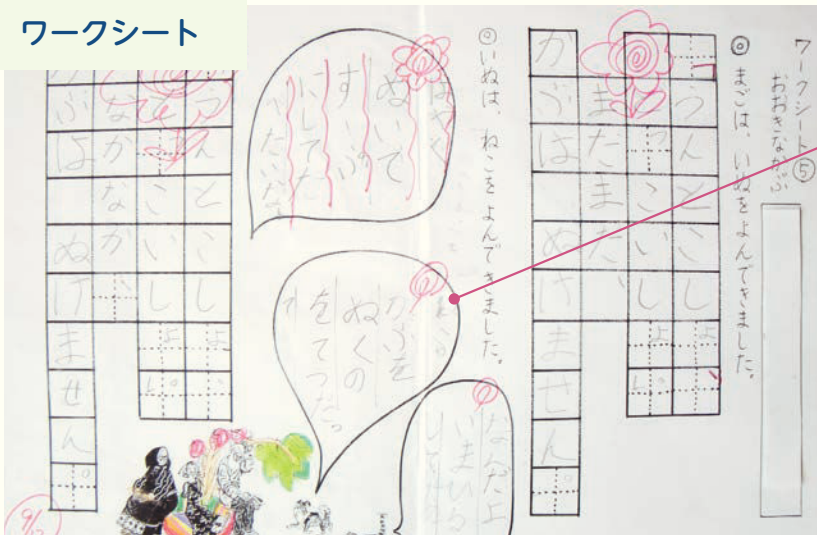
登場人物の会話や気持ちについて、ワークシートを用いて整理させる。

活動のねらい ▶ 繰り返しの表現のおもしろさや登場人物の気持ちを読み取ることができる。

ここが
ポイント

- 挿し絵を利用した場面ごとのワークシートを作成する。
- 各場面での登場人物の会話を想像し、ワークシートに記述していき、場面ごとの読み取りを深めていくようにする。

ワークシート



ふき出しに書きこませることで、その人物の視点を持ちながら、自分の言葉で気持ちを書くことができる。

(期待される児童の姿)

動作化での体験を手助けに、場面ごとに人物の会話や気持ちを書くことで、気持ちの移り変わりを一人一人が考えることができる。